

テーマ：たくましいからだ



美しい日本語の継承を！

多可町長 戸田善規

私は「子育てや職（しつけ）は親がするもの」との認識を特に強く持っている。一番に気をつけたのは、家庭での「言葉づかい」だ。正しい言葉づかいが家中や社会の秩序をつくり、伝統的に受け継がれた日本文化の良き部分を継承できる唯一の方途と考えていたからである。

昨今、英語教育の早期導入がいわれるが、母国語である日本語を正確に話せる子どもがとれただけだろうか。いや、子どもだけではない。私たち大人も含めて、美しい日本語を駆使（くし）していただくだろうか。

謙譲語、尊敬語、丁寧語などをつかい分ける日本語は、学ぶにあまりに難しく、それだけに最高の文化性を有すると云われている。また、自己の責任ある行動を母国語である日本語が規定してきた。「言葉は豊かな人間性を醸成する」と言っても過言ではない。

米国では thank you（サンキュー）、excuse me（エクスキューズミー）、please（プリーズ）の3つの単語が子育ての基礎だと聞く。改めてそう考えると、英会話で頻繁に出ってくる please の言い回しが、微妙な立場や関係を示す相互の敬語として理解できる。

豊富な語彙（ごい）や美しい言葉を識るには、それぞれの年代に見合った読書が一番だ。良書は必ず敬語を学ばせ、読者の人生に潤いを与える。

多可町では、失われつつある「美しい日本語」を是非とも継承したいものだ。



どきどき♪わくわく♪

げんきいっぱい けやきこ

中町幼稚園では、体を鍛え、運動能力を高めていこうと、約25年前から毎年10月中頃から翌年の2月まで乾布まさつとマラソンを保育の中に取りいれています。今年もそのシーズンがやってきました。

保護者に乾布まさつの効果を知らせ、理解と協力をお願いし、園と家庭と連携しながら、子どもたちの「たくましいからだところ」の育成を願って日々保育に取り組んでいます。

マラソン



しっかり準備体操
1・2・3・4・・・



土をけて、風をきって、
走ります



脱いだ服を
たたんでいます



元気なからだになるように、
ゴシゴシとこすります

乾布まさつ



みんなげんき

ホップ ステップ ジャンプ!



色づき始めた葉やいろいろな木の実。園庭には大きなどんぐりの木があり、今年は例年になくたくさんの実をつけています。毎朝子どもたちは木の下に駆け寄り、どんぐり拾いに夢中です。

どんぐり拾いから朝の遊びが始まり、なわとびや体操など秋のさわやかな空気の中で元気いっぱい遊んでいる子どもたちです。

★チャレンジなわとび★



「先生数えとってよー」と目標めざして頑張っている子どもたちです。

ごほうびシールやスタンプもどんどん増えていっています。

★げんきつき体操★



月毎にダンスや体操に取り組んでいます。「先生もう1回しよー！」と楽しんでいます。

★徒歩通園★



小学生と一緒に歩いて通園しています。お家の方からは「歩いて行くようになり欠席も減り、丈夫になった」という声も聞かれます。



運動大すき 目指せチャンピオン



子どもたちにとって、体を伸びやかに動かして楽しむことは健全な心身の発達の上で大切です。日常保育にわくわくする運動遊びを取り入れ、一人ひとりが目標を持って取り組めるようにしています。課題が達成できたらシールを貼るなど子どもたちは楽しみながら、そして競い合いながら運動をしています。

活動を通して友だちから刺激を受けたり、教え合ったりする姿が見られるようになりました。粘り強く何度も練習して成功した時、「できた！」という達成感を友だちと共感します。自信と意欲を持って、また次の目標に向かってチャレンジしています。

こんなことをしているよ



おさる、地球まわり、前まわり、逆上がりができれば鉄棒チャンピオン



初めは怖かったけど、練習して跳べるようになったら気分は最高！



誰が一番たくさん跳べるかな？よ～い、ドン！！



てっぺん目指してがんばるぞ。



わんぱくデー



冷たいなあ☆

「わぁ、かにがいっぱいおる。かくれんぼしてる！」



西谷公園は、洞窟があったり、やまもが食べられたりするんだよ！甘酸っぱくておいしいよ。



子どもたちは園外保育が大好き！そして歩くことも大好き！キッズランドでは、体力作りを通して、自然とのかかわりや人とかかわりを深めるため、毎月1～2回程度、八千代区内の様々な所へ出かけている。最初は園外へ出るという開放された気分を楽しんでいるだけだったのが、回を重ねるごとに興味や関心が広がり、自分を深めるような喜びを体験するようになった。ささやかな実践が継続することにより、力となることを願っている。



『たくましい体』をつくるために

基本は
体育の授業
の充実

「自ら進んで運動に親しむ能力と態度を身につけさせる」ために、「年間指導計画」に基づき、各学年で工夫して取り組んでいます。

自分にチャレンジ

～体力・運動能力テストの実施～

な かよくする子
か っぱつな子
き もちのやさしい子
た くましい子

自分の力を知るところからチャレンジが始まります！

体力づくりは「遊び」から
～運動場で元気に遊ぶ～

「遊びは子どものエネルギー」柔らかなバットとボール、いつでも使えるジャンプボードや輪車は、子どもたちに大人気！子どもたちの「遊び」を応援します。

みんなで楽しく

～いろいろな行事で体力づくり～

朝のかけ足・マラソン大会・なわとびチャンピオン大会・クラス対抗大なわとび大会など楽しい行事がいっぱいです。



校外で力試し
～特別陸上クラブ～

早朝に運動場を走る子どもたちの姿が見られます。北播陸上大会や駅伝大会に参加しています。

南っ子体操



1年から6年までみんなでする体操。それが、南っ子体操です。1年生は、1学期から少しずつ練習を始めたので、運動会本番には全校生バッチリ！おみごと！体操の中には、ストレッチや柔軟性の要素をたくさん取り入れています。

運動会

輝く ほくたち わたしたち！

1・2年



《大玉》

4人一組で、力を合わせバランスを取りながら大玉を押し回したり、運んだりしました。みんな楽しく、そして、力いっぱいの競技でした。

テンポの速い曲「It's a small world」～かえでっ子バージョン～を手足で細かく表現しました。また、体全体で大きく、元気よく、リズムカルに踊りました。

3・4年



《ダンス》

5・6年



《組体》

友だちとの信頼感や責任感を必要とする組体。もちろん体力・気力が基本です。何度も練習を繰り返し、やっと完成したときの子どもたちの満足気な顔が印象的でした。

ふるさとの名峰"千ヶ峰"登山

— 心と体の教育をめざして —

松井小学校では、県下に誇る名峰"千ヶ峰"を、心と体を鍛える学習の場として位置づけ、毎年秋に登山を実施しています。今年は、9月29日（金）に、3年生から6年生までが頂上まで、1・2年生がふもとの神光寺までの遠足を実施しました。学校から千ヶ峰のふもとまで、約5キロの道のりを歩いて行きます。やっとそこから急峻な登山道にはいります。クマザサをかきわけ、全員が頂上に着いたのは、学校を出てから4時間後。達成感にあふれた笑顔が一斉に咲きほころびました。



登山道がとてもきつくて、しんどかったし、すべりそうで怖かったです。でも、頂上からの景色は最高でした。

私はなんて小さかったんだ！
今まで体験した疲れなんて、まだまだ序の口だった。
千ヶ峰登山で、そのことを思い知らされた。なんて高いんだ千ヶ峰！なんて遠いんだ頂上！



杉っ子のたくましい体は 杉小サスケ から

～杉小の子どもたちの実態～

そこで子どもたちが普段あまり進んでしようしない



男子は、外では遊ぶが主にサッカーをしている。
女子は外であまり遊ばない。
スポーツテストの結果女子は体力的に落ちていた。

- ・のぼり棒
- ・一輪車
- ・竹馬
- ・うんてい
- ・1本橋



サスケン



おにすぎくん

などの運動を一年間継続して取り組んでいけるよう
杉小サスケ が生まれた。

取り組んだ結果

- ・体育委員会が主体となって取り組み、させられる運動ではなく自ら進んでする運動になっている。
- ・運動が得意な子どもにとっては、杉小サスケに認定されるのが誇りに、運動が苦手な子どもにとっては少しでも苦手が克服できるようがんばる姿勢がみられるようになってきた。
- ・また、認定種目を普段の遊びの中でする子が増えてきた。

※おにすぎくんとサスケンは 杉小サスケ のイメージキャラクター 《5年藤本和佳菜さん・内藤久留実さん作》



自然の中で、よく遊び、よく学べ！

毎年、北小学校の運動会では、3・4年生の一輪車リレーが行われます。今年、一輪車デビューの3年生は、春から体育の時間はもちろん、休み時間、放課後にも、毎日練習を重ねてきました。「運動会で乗る」ということが目標ですので、ころんでもあきらめず、とうとう全員が乗れるようになりました。

また、本校の児童は、隣接のふれあいの森でもよく遊びます。ロープ登り、すべりだい、基地作り・・・体をいっぱい使って遊びます。豊かな自然に囲まれ、季節を感じながら、友だちと一緒に遊びの中でたくましい体・たくましい心を育てています。



GO! GO! 一輪車



2年生、次は私たちの番だ



実りの秋!

八千代北小学校

運動の楽しさやできる喜びを味わわせながら 体力の向上をめざす

～目標をもち進んでとりくむたくましい子～

〈体育的行事〉

- 5月 スポーツテスト
- 7月 町内水泳記録会
- 9月 運動会
- 10月 北播陸上（希望者）
- 12月 マラソン大会
- 1月 北播駅伝カーニバル（希望者）
- 2月 スキー教室



〈全校で取り組む強化種目〉

- 5月 鉄棒・遊具
- 6～7月 水泳
- 9月 運動会
- 11～12月 陸上（持久走）
- 2月 縄とび



運動会



応援合戦



組体操



強化種目



鉄棒・遊具カード



足をとってさか上がり(難手)	
足かけ上がり(難手)	
足かけ後ろ回り(難手)	
足かけ前回り(難手)	

八千代南小学校

八千代西小学校

コンビニエンスストアや大型のスーパーが身近にあり、24時間いつでも好きなものが手に入るようになって、食生活の乱れが心配されています。

西小学校では、多様化する食生活の中にあっても、子どもたちに望ましい食事のとり方を身につけてほしいと、町内外から栄養の専門家の方々にお越しいただいて、「食べる」と健康をテーマとした学習に取り組んでいます。

子どもたちは、興味深く先生の話を聴き入り、毎年大変有意義な学習となっています。



地域栄養士「そらまめくん」のみなさん
(昨年の学習の様子)

食生活を通じた健康づくり教室

偏った栄養摂取 肥満傾向の増加

食に起因する様々な健康問題が起きています

～子どもたちに自己管理能力を身につけさせよう～

◆今年度の学習予定◆

【1・2年生】 よくかもう（噛むことと食物繊維）	11/2 (木)
【3年生】 歯や骨を丈夫にしよう	11/1 (水)
【4年生】 おしっこから学ぼう	11/1 (水)
【5年生】 バランスのとれた食事をしよう	11/2 (木)
【6年生】 小児生活習慣病から自分を守ろう	11/1 (水)

食習慣は発育に大きな影響を与えます。また、家族と一緒に食事の心が育みます。この学習を通して、家族で食卓を囲み、会話とともに笑顔が交わされることを願います。



おしっこは健康のパロメーター
(昨年の学習の様子)

たくましい体力をつけるために

1 体力づくりのねらい

本校の教育目標「かしこく、やさしく、たくましく生きる心豊かな生徒の育成」達成のためにも「体力」の向上は必要不可欠である。「体力」とは、体力の向上のみならず、心身の健康の保持増進、豊かな人間性の基礎基本の力ととらえている。



2 本校の現状

下の表は「行動体力」のうち50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・男子1500m、女子1000m持久走について「新体力テスト」の結果を本校3年生と昨年度の全国平均とを比較したものである。残念ながら、比較項目全てにおいて全国平均を下回っている。



		50m走	立ち幅跳び	ハンドボール	持久走
男子	本校	8.80秒	194.95cm	21.82m	6分27秒20
	全国	7.60秒	213.23cm	24.55m	6分13秒28
女子	本校	8.75秒	146.90cm	11.70m	5分04秒00
	全国	7.55秒	171.60cm	14.93m	4分53秒65

3 たくましさを取りもどす手だて

○ 保健体育授業時で

- (1) 15m～20mの短距離走のダッシュを積極的に行わせる。
- (2) 選択種目として様々な球技(ソフトテニス、卓球、ソフトボール等)の楽しさを味わわせる。
- (3) 長距離走に創意工夫を加え、楽しく積極的に走らせる。

○ 家庭生活で

- (1) 運動する機会が減っているので、自主的に運動に親しむよう奨励する。
- (2) 規則正しい生活を送り、栄養のバランスを考えた食事をする(朝食を抜かない)ことも、たくましい体力をつくる一因であることを理解させる。

中町中学校



たくましい身体はいい歯から

加美中学校は兵庫県歯科医師会が主催する兵庫県学校歯科保健優良校表彰で、平成15年から4年連続で入選しています。

歯と脳には密接な関係があり、脳は、噛み合わせるたびに刺激を受け、活性化されます。特に前歯を噛み合わせることで、知性、理性をつかさどっている前頭葉が活性化されるといわれています。

歯磨きの習慣や健全な食生活など、子どもの健全な発育について、家庭と小・中学校との継続的な連携の成果がこのような形であらわれているものと思います。

平成18年度 兵庫県学校歯科保健優良校(県下26校)

平成17年度 兵庫県学校歯科保健優良校(県下26校)

平成16年度 兵庫県学校歯科保健努力校(県下53校)

平成15年度 兵庫県学校歯科保健努力校(県下54校)

兵庫県には約400の中学校、中等学校や養護学校の中学部があります。

もっといい歯を

平成18年度中学生の歯みがきスキルアップモデル校

1年生が来年1月から2月にかけて、社健康福祉事務所管内のモデル校として、歯科衛生士さんから、磨き残しチェック、歯肉の観察、効果的な歯みがき方法など歯みがきの指導を受けます。

子どものむし歯は、乳歯が永久歯に生えかわる小学校5年生から中学校1年生頃に減少しますが、2年生以降は再び増加しています。また、中学生では虫歯の増加のほかに、思春期性の歯肉炎や歯周病も多くなります。

そこで、この時期に自分の歯みがきの方法を点検し、正しい歯みがきの方法を身につけることはむし歯の予防に大変役立つものと考えます。



より良い食生活を

ヘルスサポーター21事業

2年生が11月に多可町いずみ会の皆さんのお世話で、食生活改善のための講習を受けます。

この事業は生活習慣病のリスクを減らし、健康でしかも質の高い長寿社会の実現を目指して、ひとり一人が自分自身の食生活の改善を図ろうというものです。

第36回八千代中学校体育祭 平成18年9月11日(月)

目的：① 体力、気力の充実など心身の健全な発達を促す機会とする。

② 集団行動を通して集団の中で自己がはたさなければならない役割を自覚するとともに、互いに協力しながら、責任を持って自主的に行動する態度を養う。

③ 生徒、職員、地域の人たちが共に交流し、一体感を体験することによって相互の親和を深め、学校に対する地域社会の理解と協力を得る機会とする。

全校一心



テーマ：「輝け八中！目指せ最高の体育祭！」

本校の体育祭は生徒会を中心に企画、準備、練習の指示などすべてを行っています。夏休みから準備・計画を進め、1週間という短期間の練習で様々な演技に取り組んでいます。演技リーダーは指導の過程で苦労や困難も経験しながら、成長をとげていきました。全校生が一つになり体育祭が大成功に終わった時には達成感と充実感で喜びの涙を流していました。縦割りのグループ対抗の応援合戦も本年度で3年目になり、年々工夫が凝らされてきています。3年生の後ろ姿を見て2、1年生は来年、再来年は自分たちの番だと意欲を燃やし、本校のよき伝統となっています。



1組グループ



2組グループ

赤組

白組

ボクたち、ワタシたちの 夏休みドキドキ体験!!

町内の3公民館では、子どもたちが、夏休みを利用して、日頃学校では味わえない様々な体験活動にチャレンジしました。その一部を紹介します。

竜神太鼓をたたこう!!

【中央公民館 NAKAキッズ塾】

7月22～26日(全5回) 多可町中央公民館

太鼓でドン! いい音ひびくぜ!

石塚さん、岡崎さんの指導のもと、中区に伝わる竜神太鼓にチャレンジしました。

まずは楽譜を見て口で「ドンドンドッコドッコ・・・」みんなで声を合わせます。

次に基本のばちの持ち方や打つ構えを教えてもらい、いよいよ太鼓をたたきます。最初は先生の叩く通りにリズムよく・・・。最初はぎこちなかったばちさばきも、回を重ねるごとにみるみる上達!

後半の練習では、みんなと一緒に合わせてリズムよく太鼓を叩くことに集中。楽しそうに演技をしていました。

教室最終日は、ミニ発表会。見事に決まったこの構え!。日本古来の伝統文化である和太鼓の楽しさにふれることができた5日間でした。



ポンボコ島無人島キャンプ

【加美公民館 わんぱく教室】

8月3～5日 舞鶴市青少年の島「戸島」

無人島で過ごす3日間。電気もガスも水道もないサバイバル生活・・・。子どもたちの日常生活とはかけはなれた体験ばかり・・・。楽しいばかりではない、面倒な事もたくさん経験してほしい。そんな思いで実施した無人島キャンプ。でも、子どもたちは、電気がなくても!水道がなくても!仲間がいれば生きていける!!とばかりに、海釣り、カッター、飯ごう炊さん、キャンプファイヤーと、たくましく、元気いっぱい、パワー全開!。大自然を相手にした日常では味わえない様々な体験は、子どもたちの心と体をひとまわり大きくしてくれました。

もたちの心と体をひとまわり大きくしてくれました。

乗馬教室

【八千代公民館 アドベンチャースクール】

7月27日 乗馬クラブ「スタールサクライ」
(八千代区坂本)

子どもたちは、馬に乗るのはもちろん初めて。馬って近くで見ると、こんなに大きくて優しい目をしているんだ・・・。ドキドキしながら鞍にまたがると、視線がぐっと高くなり、景色が変わって見えました。足でぽんぽんと軽く馬のお腹を蹴って合図を送ると、ゆっくりと動き出しました。最初は馬に触れる手もぎこちなかった子も少しずつ慣れ、手綱を操って馬を左右に曲がらせたり、早足に挑戦するまでになった子どもたちもいました。真っ青に晴れわたった夏空のもと、子どもたちは初めての乗馬に緊張しながらも、手綱をしっかり握って貴重な体験を楽しみました。



50年に一度の国体を終えて

9月25日(月) スポーツ芸術をスタートに、9月30日(土)はファミリーバドミントンのデモスボ行事、10月1日(日)は4日(水)までは、成年女子6人制バレーボール競技がそれぞれ盛大に行われました。

多可町の子どもたちは、デモスボ行事に選手として参加した人、吹奏楽の演奏で開会式を盛り上げた人、そして、バレーボールの運営を協力した人など、様々なところで活躍していました。

また、普段見ることのない国体ということ、たくさんの子どもたちもいろいろなチームを応援したようです。

50年後にやってくる兵庫国体では、この思いが心の中に残り、今の子どもたちが、新たなボランティア精神で大会を盛り上げてくれることでしょう。

【生徒の生活ノートより】

◆今日は、みんなと一緒に国体の応援に行きました。私は、バレーのルールも全然わからない素人ですが、それでも、ブレーを見てみると、「すごいなあ」「気持ちが入っているな」と伝わってきました。

私は、兵庫を応援していましたが、どこのチームも笑顔で、この人たちは、バレーをしていて楽しんでいるんだなと思いました。補欠の人も点が入ったときには、

リアクションをしてチームのムードを高めていました。本当に、みんなが一つになれば強くなるんだなと実感したい試合を見ていただきました。

◆今日は5時間目が終わってすぐにアスバルへバレーの応援に行きました。国体は初めてだし、国体に出るほどの実力を持ったチームの試合を見るのはじめてで、音がすごかったです。本当に、内心ビビってました。兵庫vs滋賀の試合で、私は一生懸命応援しました。でも、惜しくも0-3で負け……。でも、50年に一度である国体の試合が見られてよかったです。

◆50年に1回の大会が、兵庫県であるのはすごい偶然だし、そんな大きな大会に参加できたことを大変うれしく思いました。「吹奏楽としてできることをしっかりやりたい。」と思い、一生懸命練習しました。八千代中学校と合同でやることは、本番の数日前に聞いたので、とても驚きました。10月1日の本番の日、あまり緊張はしなかったけど、ワクワクしました。私たちの演奏で選手が行進されているのを今思えば、すごいことなんだとびっくりしました。1日だけだったけど、50年に1回の大きな大会に参加できて、とてもいい記念になりました。また、こんな機会があれば、頑張りたいです。

自由にあそぼう!!
たかちょうぼうけん

多可町冒険ひろば



60年前、デンマークで生まれた『冒険遊び場(プレイパーク)』。今では世界中に広がって日本でも各地で取り入れられています。そんな冒険遊び場を『多可町冒険ひろば』として毎週水曜日、加美区の南グランドで開催しています。毎回、30~40人の子どもたちが元気に遊んでいます。

「冒険ひろば」とは

決まったプログラムは何もありません。子ども自身の責任で子どもたちが自由に遊ぶ、危険があるからこそ子どもたちが自分自身で注意しながら遊びを広がっていき、それが『冒険ひろば』です。ケガは自分持ち、昔ながらの『遊び場』です。

週1回放課後の子どもたちの自由な遊び場として、定着できればと思います。

とき 毎週水曜日 午後3時から5時ごろ(日没にあわせて変更)
ところ みなみグランド(松井幼稚園西側) 誰でも参加できます!

お問い合わせは 冒険ひろば事務局(多可町教育委員会内) 担当 橋本 TEL 32-1250
プレーリーダー(加美公民館内) 藤田 TEL 35-0085

「早寝 早起き 朝ごはん」運動

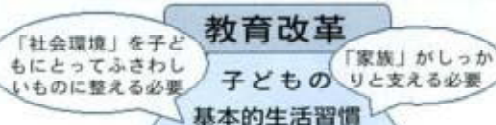
子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が必要である。

しかし昨今では、「朝食を食べない」「夜ふかしをする。」など、子どもたちの基本的な生活習慣が乱れ、学習意欲や体力・気力に影響を及ぼしていることが指摘されている。

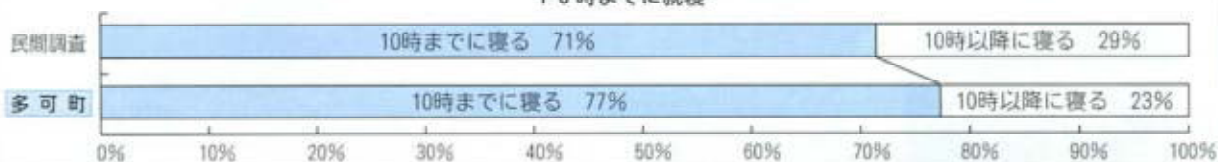
このような状況から、家庭における食事や睡眠などの乱れは、個々の家庭や子どもの問題として見過すことなく、社会全体の問題として、全国的に地域、学校、家庭が一体となって、子どもたちの健やかな成長に必要な活動に取り組めるよう平成18年4月より、「早寝 早起き 朝ごはん」運動がスタートしている。

子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し生活リズムを向上

- ・午後10時以降に就寝する就学前の幼児
→ 29% (平成17年、民間調査結果)
- ・朝食を食べないことがある小中学生
→ 小学生15% 中学生22%
(平成17年文部科学省委嘱調査結果)
- ・毎日朝食をとる子ども
→ ペーパーテストの得点が高い傾向
→ 体力テストの結果が良い傾向
(国立教育政策研究所調査結果)
- ・お手伝いをする子ども
→ 道徳観・正義感が身につけている傾向



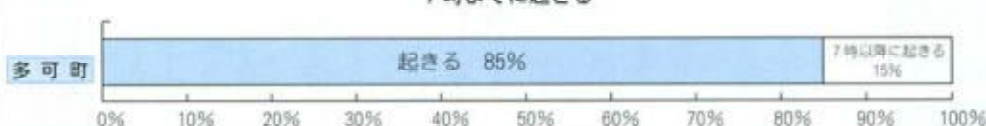
10時までには就寝



朝ごはんを毎日食べる



7時までには起きる



多可町内の小学生の生活を見ると、10時以降に就寝する子どもの割合は23%である。もう少し細かいところまで探ると、高学年になるにつれて、就寝時間が遅くなる傾向がある。

また、早起き（午前7時までには起床）する子どもの割合は、85%である。小学生に大切な睡眠時間は、約9時間ということから考えると、10時までには寝る子どもは、概ねその時間がとれていることになる。

朝ごはんについては、「毎日食べる」は、96%であり、民間調査よりも多くの子どもたちがきちんと朝食をとっている。

町内の各小学校では、これらの実態をふまえて、教職員全員で共通理解を図り、左記のような取組を進めている。

【主な取組】

- ・保健だよりなどを通じて、子どもたち自身が自分でなんとかしようと思える指導を進める。
- ・具体的な生活目標を立てることで、保護者への啓蒙を図り、教職員と保護者が連携して生活改善に取り組む。
- ・オープンスクールの期間中に食生活に関する掲示をする。（栄養士から、簡単にできる朝食メニューの例を挙げて保護者に啓発する。）

朝食の大切さ

脳の活動エネルギーは、主食の米やパンからしか得られない。朝食を食べなければ、体温が上昇せず体が目覚めない。学習活動に支障をきたすことがある。



兵庫県立北はりま養護学校

多可郡多可町中區間子602-1 TEL0795-32-3672

＜ 教育 目 標 ＞

障害のある児童生徒一人一人のライフサイクルを見通し、障害に基づく種々の困難を改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、社会の一員として可能な限り主体的に生活を営むことができる力を育成する。

全校による学習発表会



【小学部・中学部・高等部】

教科の学習の他に運動会や学習発表会などの行事もあります。



学習風景

校 訓

明 る く
仲 良 く
生き生きと

教育相談・発達相談 訪問相談

お子さまの障害や発達、就学に関する相談をお受けします。お子さまの学校や園に出向くこともできます。お電話で申し込んでください。

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitaharima-yogo>



近隣の小中学校との交流



学習風景



（訪問学級）

のぎく療育園で生活している児童生徒が、施設内の教室で勉強したり、通学の難しい児童生徒の家庭に教師が出向いて勉強を教えたりしています。



多可町では先生方が、夏季休業中に民間の企業活動を実体験して、その体験や見聞を、授業を通じて明日の多可町を担う子どもたちへ伝えるための研修をしました。

本年度は、多可町内10人が3社の民間企業に研修に行きました。

企業研修に対しては、

- ・企業で実施されている教育等の人づくりがどのように推進されているのか。
- また、学校教育との共通点をさぐってみたい。
- ・企業における人材育成の実態を学び、評価についての研修がしたい。また、最先端を走る企業の、環境についての取組や社会貢献等の取組に力を注いでおられるところについて学びたい。
- ・平素の仕事の領域とは全く違った企業研修で、自分の立場や方向性を見直す機会とし、教育現場で生かせるものを得たい。

先生たちも勉強しています!!

など、それぞれに課題を持って、2、3日の研修に参加しました。

【研修会で学んだこと】

◆企業が、人材育成に力を注いでおられる点に改めて驚き感動しました。「企業は人なり」さらに「技術者である前に立派な社会人であれ」という言葉とおりの企業の本質部分を見せていただきました。

技術が教育の知・徳・体の知の部分とすれば、「立派な社会人であれ」というのは徳の部分であるのでしょうか。今日の学校教育では、ともすれば知の部分だけに力を注ぎがちですが、徳がおろそかにならないように、そして、和も見逃してはいけないと思いました。

◆現在の企業の考え方には、業績向上はもちろん、環境保全、社会貢献、人材育成、社員「人」を大切にするという、社会全体のあたたかさ、やさしさという企業のあり方（ソフトウェア面）が中心にあるということを感じました。「物・量」中心の社会から「人・質」中心の社会になり、企業も柔軟にその流れに合わせて、変化している。教育現場でも、5年、10年先のビジョンをもち、世の中の流れに柔軟に対応していける力量の必要性を感じました。